

みやこだより

VOL.13.14 合併号

2016.6 発行

発行者 岡本秀巳

編集者 小西啓吾

株式会社 **都ハウジング**

京都市伏見区深草キトロ町 30-12

TEL 075-643-3191

MAIL info@miyako-h.co.jp

店舗を全面改装しています

1998年（平成10年）に本社建物を新築してから18年が経ちクロスがめくれ内装がうす汚れてきましたので、今般全面的にリニューアルすることとし、月初から工事を始めました。

テレビ番組のビフォーアフターに出演された坂田基禎一級建築士のデザイン設計により1~3階の内装を一新します。特に1階は接客を主とした機能にしぼり、思い切ったイメージチェンジとなります。9月にはリフレッシュした姿を現しますのでご期待ください。

（店主 岡本秀巳）

熊本の現状を視察してきました。

6月10日（金）長栄の長田社長（日管協副会長・近畿ブロック長）に同行し店主の岡本（日管協理事・近畿ブロック事務局長）が熊本市の明和不動産（川口雄一郎会長・日管協熊本県支部長）に震災のお見舞いに訪問し、併せて被災状況を視察してきました。

物件の被災状況、オーナー様への対応、入居者からのクレームに対する取組み、インフラや行政の実情、我々管理会社・社員の業務対処等を色々とヒヤリングしました。

阪神・東北・熊本と続いた災害により経験が蓄積され、住民・事業者・行政にノウハウが集積し対応がマニュアル化できてきた感もあります。京都での災害に対し、行政他各方面とのシミュレーションが必要と痛感しましたので今後提起してまいります。

熊本市内の街中の様子は一段落した感じでしたが、建物内は家財動産の損傷や内装の破損が見られ、まだまだ手つかずといったところです。熊本城は立ち入りが出来ず、崩壊した石垣を写真に収めてきました。

となりの益城町（マシキマチ）はひどい状態で、阪神大震災の時と同様に木造瓦葺家屋は軒並み倒壊・損壊し、鉄骨造建築物にも傾いたものがあり、多くの建物に赤（危険）黄（要注意）の判定シールが貼ってありました。

いずれ詳しくご報告の機会があるかと存知ますがとりあえず写真でご報告します。

（店主 岡本秀巳）





そんなに古くない建物ですが倒壊です。



いずれも1階がペシヤンコでした。



『祇園みやこ京町家』(ゲストハウス) オープン

2016年5月23日より祇園石段下近くに
当社が企画運営するゲストハウスが
オープンしました。

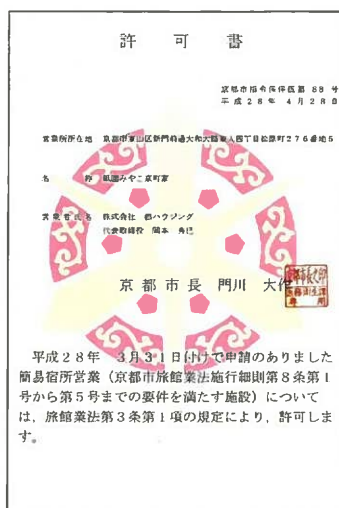
今、話題になっている「民泊」(法律違反)
ではなく旅館業法に定める簡易宿所の
事業許可を得ています。

当社としては、初めての試みであり
この経験がオーナー様への有効な活用方法の
ご提案へ活かす事が出来れば幸いと
考えております。

オーナー様やお知り合いの方にも
勿論ご利用して頂けます。

1組5名様以内で一泊から受け
しておりますので、
ご利用の際は当社までお気軽に
お問い合わせ下さい。

(ゲストハウス担当 荒川博)



よろしくお願ひします



今年6月より入社致しました松本真依と申します。

もともと語学に興味があり、大学在学中、半年間カナダに留学しました。現地では、病院とホテルでインターンシップを経験し、様々な価値観があることを知り、他文化で生きている人々への理解を深めるとともに日本語以外でコミュニケーションを取る楽しさを知りました。

大学卒業後、接客業に携わり、相手の立場になって考え行動することを心掛けておりました。前職では医療事務でしたが、医療英語を勉強し、外国人観光客への対応を任されておりました。外国人観光客が増えているのを目の当たりにし、インバウンド施策に興味を持ち、ゲストハウスに関わりたと思いました。そんなとき都ハウジングで町屋をリフォームしたゲストハウスを提供し始めたことを知り、応募致しました。

未経験の業界ですが、先輩方に教えて頂きながら、多くの方へ丁寧な接客を心掛けようと思っております。最終的には信頼できる社員の一員になってサポートしていきたいと考えております。

(営業事務 松本 真依)

よろしくお願ひいたします。



今年4月より入社しました、西澤明日香と申します。

次男の出産を機に四年前に退職しましたが、店主にお誘い頂き復歸することとなりました。

約四年というブランクがあるとはいえ、長年勤めてきた会社であり業務内容ということで何とかなるだろうとは思っていましたが、世界情勢や日本の情勢が日々変わるように、この業界もまた日進月歩であり、色々な変化があることに復歸してすぐに驚きを覚えました。しかし、その分、やりがいのある仕事であると実感したのも事実です。

店主には子育てのこともあり、以前より短時間勤務等、柔軟な対応をして頂いていますが、私が離れている間に会社が2014年に「真のワーク・ライフ・バランス」で京都市より表彰されていたことを知りました。

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは、内閣府によると、『国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会』と言われているようです。

多様化する社会において、これから働きやすい職場の需要は増えていくと思いますが、そんな取り組みを率先して行っているこの会社で、また勤めさせて頂けることを感謝すると共に、皆さんの役に立てられるように私自身も日進月歩で頑張っていきたいと思ひます。

これからどうぞよろしくお願ひ致します。

(事務 西澤 明日香)